

報道機関各位

(プレスリリース)

2018年10月25日

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター

## 日本の研究成果に特化した希少・難治性、未診断疾患領域に関するウェブサイト

# NAN-BYO RESEARCH from JAPAN

### 開設のご案内

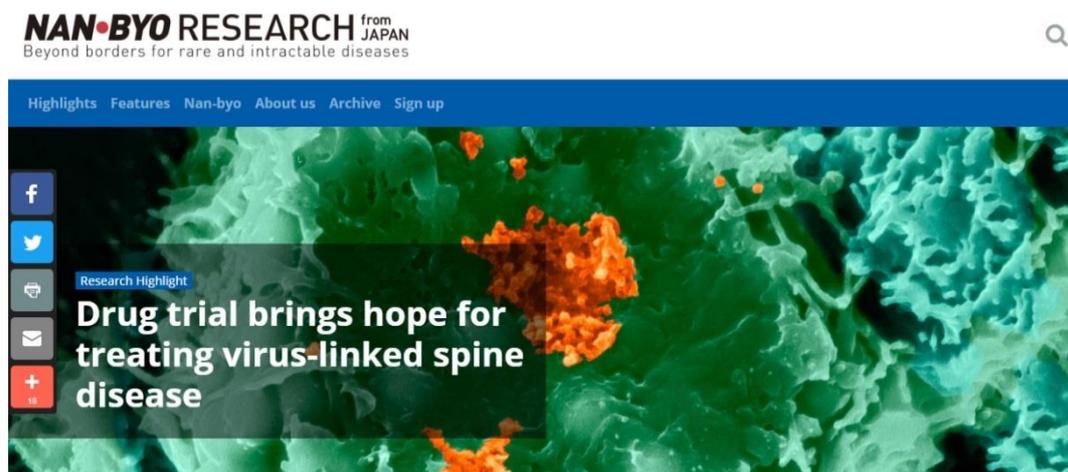
(公財) 神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター (センター長：福島雅典、神戸市中央区、以下TRI) は、この度、“NAN-BYO RESEARCH from JAPAN”

(<https://www.nanbyo-research.jp/>) を開設いたしましたのでお知らせいたします。

TRIでは、昨年度より日本医療研究開発機構 (AMED) からの支援を受けて、希少・難治性、未診断疾患領域に関して国際的な情報交換、連携を強化するための活動を続けています。その活動の一環として、世界的にも認知度・インパクトの高いSpringer Nature社と提携し、本ウェブサイトを構築いたしました。本ウェブサイトでは、AMED難治性疾患実用化研究事業およびAMEDが主導する希少・未診断疾患の研究を推進するプログラム (Initiative on Rare and Undiagnosed Diseases : IRUD) の研究課題を中心に、日本の研究成果を世界中に周知していくことを目指し、より分かりやすく、よりジャーナリスティックにまとめ、発信していきます。

また、日本の研究成果についての情報を国際的に展開することで、AMEDの国際的な認知度向上をも図ること、日本と各国との共同開発を加速させることも目指し、日本の難病研究に関する国際的なプロモーションツールとして確立ができるように、今後は定期的なコンテンツの更新・公開を予定しています。是非ともご高覧くださいますようお願いいたします。

#### ◆ NAN-BYO RESEARCH from JAPANサイトイメージ



◆ NAN-BYO RESEARCH from JAPAN 概要

- ・サイト名称： NAN-BYO RESEARCH from JAPAN
- ・サイトURL： <https://www.nanbyo-research.jp/>
- ・編集委員長： 川本篤彦（TRI医療開発研究所長）
- ・公開日： 2018年10月15日
- ・協力： Springer Nature社
- ・言語： 英語

◆ NAN-BYO RESEARCH from JAPAN コンテンツ

コンテンツ名	内容
Highlights	AMED難治性疾患実用化研究事業等にて支援され、目覚ましい成果をあげている研究の紹介
Features	日本の難病に対する取り組み（制度や体制、イベント等）の紹介 ※10月下旬公開予定
Nan-byo	難病（Nan-byo）の定義
About us	本ウェブサイトについて AMED難治性疾患実用化研究事業等の概説
Archive	HighlightsおよびFeaturesの過去掲載分を公開日順、コンテンツ別、領域別の3つのカテゴリで一覧化
Sign up	メール配信登録。コンテンツの更新情報を受け取れます。

**医療イノベーション推進センター（TRI）とは：**

TRIは、アカデミアにおける初めてのデータセンター・解析センターであり、日本の文部科学省と神戸市によって2003年に創設されました。臨床研究を主導するすべての研究者と医師に対して、研究相談を受け付け、計画の策定から解析までを一貫して支援しており、現在までに支援してきた臨床試験・臨床研究は360件を突破、掲載論文数は260編にのぼります。（2018.8現在）

TRIは、さまざまな技術革新、基盤整備、科学創成を進め、日本における臨床研究・臨床試験の一層の発展を通じて、国民の健康の向上に貢献します。

▶ URL： <http://www.tri-kobe.org>

（TRIは2018年4月に、臨床研究情報センターから医療イノベーション推進センターに名称を変更いたしました。）



**<リリースに関するお問い合わせ先>**

（公財）神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター

企画・広報部 担当 野村、源

TEL：078-303-9095 E-Mail：nanbyo-research@tri-kobe.org